



2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年2月13日

上場会社名 株式会社ライドオンエクスプレスホールディングス 上場取引所 東
コード番号 6082 URL <https://www.rideonexpresshd.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 江見 朗
問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長 (氏名) 渡邊 一正 (TEL) (03)5444-3611
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績(2025年4月1日～2025年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	17,629	2.8	494	41.0	466	37.8	243	55.7
2025年3月期第3四半期	17,147	△2.3	350	△31.7	338	△33.4	156	△29.5

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 431百万円(△33.5%) 2025年3月期第3四半期 648百万円(161.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	24.86	—
2025年3月期第3四半期	16.00	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第3四半期	16,763	8,335	49.7
2025年3月期	12,996	8,030	61.8

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 8,332百万円 2025年3月期 8,027百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	15.00	15.00
2026年3月期	—	0.00	—		
2026年3月期(予想)				15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	23,377	△0.1	810	3.7	1,255	73.9	724	117.1	73.96

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年3月期3Q	10,938,719株	2025年3月期	10,918,529株
② 期末自己株式数	2026年3月期3Q	1,140,586株	2025年3月期	1,140,586株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2026年3月期3Q	9,789,159株	2025年3月期3Q	9,767,483株

- ※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についての注意)

本資料における予測値及び将来の見通しに関する記述は、当社が現在入手可能な情報による判断及び仮定に基づいております。その判断や仮定に内在する不確実性及び事業運営や内外の状況変化により、実際に生じる結果が予測内容とは実質的に異なる可能性があり、当社は将来予測に関するいかなる内容についても、その確実性を保証するものではありません。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間(2025年4月1日～2025年12月31日)における我が国経済は、緩やかな回復基調を維持しました。雇用・所得環境の改善や各種政策の効果が緩やかな回復を支えることが期待されておりますが、米国の通商政策の影響による景気の下振れリスクには留意が必要となります。加えて、物価上昇の継続が消費者マインドの下振れ等を通じて個人消費に及ぼす影響なども、我が国の景気を下押しするリスクとなっております。

当社グループの属する宅配食市場におきましては、高齢化社会の進展、単身世帯の増加、夫婦共働き世帯の増加を背景に、フードデリバリーやテイクアウト等の中食需要が堅調である一方で、コスト増や競争の激化といった課題への対応も必要となっております。

このような状況の下、当社グループは「ご家庭での生活を『もっと美味しく、もっと便利に』」を実現するために、「誰もがご自宅にいながらにして享受できる、より便利で快適な新しいライフスタイルの創出」に貢献していく「次世代ホームネット戦略」を基本戦略として、事業活動に取り組んでまいりました。

当第3四半期連結累計期間においては、2025年4月より商品内容や、販売価格を大きく見直したメニュー改定や、宅配寿司「銀のさら」が創業25周年を迎えたことを記念した、25周年プロジェクトなどの販売戦略により、売上高は前年同期に比べ増加いたしました。売上高の増加や、仕入れ価格の上昇に伴い売上原価は増加したものの、メニュー改定に伴う生産性の向上、前年同期に行ったサービスの終了などにより各種費用が適正化されたことで、販売費及び一般管理費は前年同期に比べ減少いたしました。

営業外損益においては、直営店舗の売却による固定資産売却益、加盟店舗の買い取りによる店舗買取損、投資有価証券の評価損を計上しております。

その結果、当第3四半期連結累計期間の業績は売上高17,629百万円(前年同四半期比2.8%増)、営業利益494百万円(前年同四半期比41.0%増)、経常利益466百万円(前年同四半期比37.8%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益243百万円(前年同四半期比55.7%増)となりました。

主な活動状況は以下のとおりです。

① 店舗・拠点

F Cを含むチェーン全体の店舗数においては、宅配寿司「銀のさら」1店舗(直営店)、宅配御膳「釜寅」1店舗(直営店)、リブランド検証を行っていた「銀のさら 和(なごみ)」の検証終了に伴うブランド切替により宅配寿司「すし上等」10店舗(直営店)、蕎麦業態「最上(もがみ)製麺」1店舗(直営店)を出店し、宅配寿司「銀のさら」9店舗(直営店6店舗、F C店3店舗)、宅配御膳「釜寅」6店舗(直営店3店舗、F C店3店舗)、宅配寿司「すし上等」6店舗(直営店3店舗、F C店3店舗)、「銀のさら 和(なごみ)」10店舗(直営店)、宅配サービス「DEK I T A T E」1店舗(直営店)を閉店いたしました。また、直営とF Cの区分が変更されたことにより、直営店は宅配寿司「銀のさら」3店舗、宅配御膳「釜寅」2店舗、宅配寿司「すし上等」1店舗の減少となっております。

これにより当第3四半期連結会計期間末における店舗数は723店舗(直営店240店舗、F C店483店舗)、拠点数は364拠点(直営店98拠点、F C店266拠点)となりました(※)。

※当社グループのチェーンでは、商品を宅配するための事業所を全国に配置しており、これを「拠点」と呼んでおります。また、消費者に提供するメニューの種類ごとに設置される設備(宅配寿司「銀のさら」や宅配御膳「釜寅」等)毎の配送機能を「店舗」と呼び、一つの「拠点」に複数の「店舗」を設置することがあります。

② 各ブランドの状況

商品戦略としましては、宅配寿司「銀のさら」では期間限定商品として、「大生エビ」、「生車エビ」、「トロサーモン」、「トロピンチョウ」、「大トロ」や「本ズワイガニ」を使用した商品を提供いたしました。イベント日限定の特別商品として、5月のゴールデンウィーク、母の日、6月の父の日におきましては、「感謝(かんしゃ)」、「ありがとう」、8月のお盆には「花火(はなび)」、9月の敬老の日には「団らん(だんらん)」、10月のハロウィンには「銀のさら」人気ネタのサーモンをかぼちゃのジャック・オ・ランタンに見立てた「ジャック・オ・サーモン」、12月のクリスマスにはお寿司・チキン・ケーキが揃った「クリスマスセット」、年末年始には「寿(ことぶき)」や「祝(いわい)」を販売いたしました。また、店舗で働く従業員1,064名が選んだおすすめネタ上位10品を盛り込んだ「お誕生日おめでとう」を提供しております。家族や親戚が集まる機会や帰省

などで久しぶりに会える方との食事を楽しんでいただきたい、大切な人とのひとときが美味しいものを食べながら、より記憶に残る時間になっていただきたい、という想いで商品開発を進めております。

公式サイト限定で販売するスペシャル商品「いま！これ！勝負ネタ」シリーズとしては、約2年の開発期間を経た「銀のさら」初の肉寿司「国産牛握り」、猛暑の夏に涼をお届けするひんやり「ご当地アイスフェア」、地魚握りシリーズ第3弾として豊かな海が育んだ旬の味わいを使用した「北海道の地魚握り」を、数量限定・期間限定で提供しております。

宅配寿司「銀のさら」、宅配御膳「釜寅」、宅配寿司「すし上等」におきましては、2025年4月より商品内容や、販売価格を大きく見直したメニュー改定を行いました。

販売戦略としましては、利用機会の創出と新規顧客の獲得を目的として、繁忙期である5月のゴールデンウィーク前後、8月のお盆期間や、年末年始のご注文を想起いただくため10～12月にテレビCMを放映しております。また、自社電子ポイント「デリポイント」を活用することでさらなる利用機회를創出するため、繁忙期や機会点において戦略的にポイントを発行しております。4月の公式WEBサイト・アプリ会員数が450万人を突破したことを記念した、4日間限定のデリポイントプレゼントキャンペーンや、各イベントごとにキャンペーンを実施するなど、顧客に向けた販売促進及び認知度向上のための施策を実施いたしました。また、宅配寿司「銀のさら」では、2025年3月に創業25周年を迎えたことを記念して、25個の企画で「笑顔」を届ける25周年プロジェクトを、2025年1年間を通して開催いたしました。

また、「銀のさら」においては、年末年始を含む12月、1月が、年間において一番お客様のご利用数が多く、収益を獲得できる時期であるため、商品戦略にて記載したクリスマス期間限定の商品販売やデリポイントキャンペーン、年末年始には高級食材を使用した期間限定桶の提供及び早期WEB予約の受付、年末年始該当期間のお客様を対象としたデリポイントキャンペーンなど、お客様満足度・利便性及び収益性の向上、新規顧客の獲得に取り組んでまいりました。

既存顧客に向けては、顧客属性にあわせた計画的なDMの実施、メールマガジンの配信、LINE公式アカウントからの情報発信、公式アプリからのプッシュ通知等、CRM（※）の確立に向けた活動を行っております。また、電子決済サービスの導入を拡充するなど、顧客の利便性向上に努めております。

※Customer Relationship Managementの略。顧客接点での情報を統合管理し、顧客との長期的な関係性を構築、製品・サービスの継続的な利用を促すことで収益の拡大を図るマーケティング手法。

宅配寿司「銀のさら」においては、テイクアウト併設型店舗の出店を推進しております。従来のデリバリーでの注文に加え、テイクアウトでの需要に応えることで、利便性の向上と新たな顧客層の開拓を進めてまいります。

「専門店の美味しさをご自宅でも！」をコンセプトに、専門店のこだわりの味をお届けする宅配サービス「DEKIMATE」においては、2025年10月22日をもちましてサービスを終了いたしました。

「美味しい蕎麦をお手軽に」をコンセプトに、セルフサービス形式にて提供する蕎麦業態「最上（もがみ）製麺」においては、2025年5月に岐阜のご当地蕎麦「冷やしたぬき」を看板商品としたブランドへとリニューアルいたしました。

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

資産は、前連結会計年度末に比べて3,766百万円増加し、16,763百万円（前連結会計年度末残高12,996百万円）となりました。これは主として、売掛金が1,149百万円、現金及び預金が944百万円、投資有価証券が849百万円増加したことによるものであります。

(負債)

負債は、前連結会計年度末に比べて3,462百万円増加し、8,428百万円（前連結会計年度末残高4,966百万円）となりました。これは主として、買掛金が1,321百万円、長期借入金が1,059百万円、1年内返済予定の長期借入金374百万円増加したことによるものであります。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べて304百万円増加し、8,335百万円（前連結会計年度末残高8,030百万円）となりました。これは主として、親会社株主に帰属する四半期純利益243百万円の計上、その他有価証券評価差額金が187百万円増加した一方で、配当金146百万円の実施により減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の業績予想につきましては、2025年12月19日に公表いたしました業績予想から変更はございません。

なお、業績予想は現時点において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,544,597	7,489,377
売掛金	1,135,806	2,285,209
商品	112,230	107,691
原材料及び貯蔵品	281,711	631,090
その他	642,590	1,042,221
貸倒引当金	△7,437	△12,293
流動資産合計	8,709,499	11,543,298
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	473,886	554,852
その他（純額）	189,752	203,614
有形固定資産合計	663,638	758,466
無形固定資産	304,446	288,383
投資その他の資産		
投資有価証券	2,497,131	3,346,447
繰延税金資産	131,087	131,002
差入保証金	663,677	662,519
その他	63,542	76,154
貸倒引当金	△36,118	△42,509
投資その他の資産合計	3,319,320	4,173,614
固定資産合計	4,287,406	5,220,464
資産合計	12,996,905	16,763,762
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,231,038	2,552,555
1年内返済予定の長期借入金	610,942	985,932
未払金	789,000	883,690
未払法人税等	172,338	89,493
契約負債	49,102	48,332
ポイント引当金	139,154	178,118
株主優待引当金	90,656	28,401
その他	258,362	895,834
流動負債合計	3,340,594	5,662,358
固定負債		
長期借入金	1,038,725	2,098,475
資産除去債務	178,047	174,911
繰延税金負債	57,175	143,567
その他	351,981	349,394
固定負債合計	1,625,928	2,766,348
負債合計	4,966,523	8,428,707
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,091,393	1,101,488
資本剰余金	995,013	1,005,108
利益剰余金	6,937,694	7,034,346
自己株式	△1,700,405	△1,700,405
株主資本合計	7,323,696	7,440,538
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	703,793	891,488
その他の包括利益累計額合計	703,793	891,488
非支配株主持分	2,891	3,028
純資産合計	8,030,381	8,335,055
負債純資産合計	12,996,905	16,763,762

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

	(単位：千円)	
	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	17,147,181	17,629,571
売上原価	9,142,060	9,548,193
売上総利益	8,005,120	8,081,377
販売費及び一般管理費	7,654,256	7,586,663
営業利益	350,864	494,713
営業外収益		
受取利息	1,365	7,774
為替差益	0	-
受取補償金	35,853	-
固定資産売却益	21,967	42,998
業務受託料	4,254	4,254
投資事業組合運用益	7,843	5,668
投資有価証券売却益	-	716
雑収入	6,708	13,572
その他	760	761
営業外収益合計	78,755	75,745
営業外費用		
支払利息	6,065	15,477
持分法による投資損失	-	452
固定資産除売却損	11,948	958
加盟店舗買取損	31,951	45,274
投資有価証券評価損	33,697	39,562
その他	7,053	1,819
営業外費用合計	90,716	103,543
経常利益	338,903	466,916
特別利益		
受取保険金	4,228	5,224
特別利益合計	4,228	5,224
特別損失		
リース解約損	8,134	8,709
特別損失合計	8,134	8,709
税金等調整前四半期純利益	334,997	463,431
法人税等	178,764	220,157
四半期純利益	156,232	243,273
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△54	△47
親会社株主に帰属する四半期純利益	156,287	243,320

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	156,232	243,273
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	491,910	179,446
持分法適用会社に対する持分相当額	-	8,433
その他の包括利益合計	491,910	187,879
四半期包括利益	648,143	431,152
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	647,735	431,016
非支配株主に係る四半期包括利益	407	136

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(セグメント情報等の注記)

当社グループは、宅配事業のみの単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。

なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	193,469千円	183,267千円